

2017.10.24 (火)
 (株)大阪共立 川本由貴

ホールという場所は座席数でお話しをされることが多いが、**実際はどんな催しが発表できるホールがほしいか**、というところに論点をおかれている。よって「〇〇〇〇人収容したい」ということではなく、**舞台演出がしっかりできる舞台の広さを求めている**のではないかと。座席数で考えるのではなく、舞台の間口、奥行、必要な舞台バトン数を優先するべきでは。舞台設備が整っていれば、多目的利用が可能であり、舞台演出に幅をもたせることができ、市民の発表の場を最大限に活かせる。

	旧市民会館	立命館 フューチャープラザ	新市民会館 (仮称)
間口	約 9 間 袖幕を入れると約 7 間	約 11 間 袖幕を入れると約 8 間	立命館 F P のレベルの確保が必要と思われる
奥行	約 5 間 ホリゾンライトより 手前は約 4 間	約 5 間 ホリゾンライトより 手前は約 4 間	<p>奥行は間口と同じほどの確保が望ましいが、ホリゾンライトより手前約 6 間は確保したい。</p> <p>上手と下手の動線を確保するために、ホリゾン幕より後ろに2 間ほどスペース (廊下) を確保することで、多様な催事に対応ができる確実な動線を確保できる。(ホリゾン幕後ろは壁や正面反射板が望ましい)</p> <p>平台等や長尺物の大道具を置く広さを考えれば、約 8 間が望ましい(※大道具倉庫では賄えない大道具は、袖や裏に常設)</p> <p>第九合唱は人数にもよるが正面反射板から約 9 間必要</p>
袖舞台	データ見つからず	約 5 間 (スプリングラや舞台機構のスペースが含まれているかは不明)	搬入してきた長尺物や大道具を捌くための広さや、合同演奏会等大勢の人数が入りするための待機場所、バレエのジャンプのための助走と着地スペースとしての十分な袖たまりが必要。スプリングラや舞台機構のスペースを除いて、3~5 間は上下にそれぞれ必要(搬入庫側が広い方が使いやすい)

・使い勝手の悪いといわれる理由は…

どの劇場でも、100%全ての方が使いやすいということは難しい。

使い勝手が悪いのは、どういう視点からかそう言われるのかを分析する必要がある。

また、どこを重要視してどこを妥協するか判断が必要となる。

利用者目線から考えると

<p>搬入・搬出</p>	<p>道路からの進入・退出はしやすいか？（進入口と出口を一方向にする等） 搬入庫から搬入する際の道具等を捌くスペースはあるか？（袖たまり確保） 搬入庫にトラックを留め置きできるか？ トラック以外の搬入車を留め置きできるか？ 搬入庫から直接舞台へものを運べるか？</p> <p>※搬入エレベーターで物を舞台に運ばないといけない構造だと、長尺物はエレベーターにのらない可能性が高く、日舞、演劇、ミュージカル、バレエ等の催し物に支障が出る。 ※大きな催事を想定すると、11 tトラックが入ることを想定している方がいい。11 tトラックが回遊できる or 転回できるスペース確保が必要。</p>
<p>楽屋→舞台への動線</p>	<p>楽屋の数が足りているか？（合唱コンクール、合同演奏会等、何校もあふれる場合、大楽屋が求められる） 楽屋から直接舞台に行くことができるか（できれば舞台と同じフロアがよいが、違う階の場合、階段・エレベーターの付近か）</p>
<p>オーケストラピット 花道</p>	<p>オーケストラピットは電動で昇降するタイプか？ 花道は常設か？</p> <p>※予算の都合上で建設コストが削られる際、「仮設案」を提案される。 ある仮設オーケストラピットの劇場では、前方の客席をバラシ、その床（仮設床）を更にバラシ、仮設床を支えている足場を解体し、組み立てていく。底は平面ではなく高低差があるため、足場を整えるのも一つずつ高さを合わせないとけない。その仕込み作業に1日、またバラシ作業に1日かかるうえ、技術員の増員が多数発生する。その費用負担は利用者に全てかかり、数十万円にも及ぶ。（本番日以外の仕込みバラシ分の施設利用料+増員人件費） また花道も同じく仮設対応が可能だが、設置作業に時間と人がかかる。 イニシャルコスト及び運営側のランニングコストは軽減できるが、利用者側に負担になる構造は望ましくない。この場合、「電動案」もしくは「設置しない案」の2択が現実的。</p>